

AOI Partners NEWS LETTER

皆様、こんにちは！二か月前にもコロナウィルスの記事を書いております。その後、緊急事態宣言が出され、たくさんの企業が休業を余儀なくされ、経済危機・失業不安など大変な状況になっていますね。では二か月たった今、皆様のお手元に、1円でもお金は確保されたでしょうか。ほとんどの方がNOではないかと思えます。

いざとなっても国に助けてもらえることは、ほぼないと思えるような状況です。自助努力で売上を確保し、雇用を守り、納税せよというメッセージに感じてしまいます。それでも社長は強く明るくないといけません。

どんな結末を迎えようとも最後まで明るく。この危機を乗り越えていきましょう。

コロナ対応といっても、どうすればいいのか？

【通常のコロナ対策】これは通常行われているかと思えます。

- ①社員にマスクを着用を義務付ける
- ②社内で手洗い・うがい・アルコール消毒などを徹底する
- ③zoomなど遠隔での面談を推進する
- ④テレワークを推進する
- ⑤三密のところへ行かない
- ⑦電車通勤時間をずらす



【万が一社員がコロナに感染してしまった場合の対策】

対策をできている中小企業は多くありません。

社員が感染してしまったら、その時考えよう、この考え方は危険です。感染により休業しても、それをまかなう補償は得られないと考えておいたほうがよいです。その場合、資金が続かなくなる恐れがあります。

中小企業はとにかく営業を続ける努力が必要です。

弊社及びお客様の実際の対応策を掲げます、ご参考になさってください。

- ①葵パートナーズ 社員に感染者が出たらその事務所は閉鎖する。それ以外の拠点は営業を継続する。休業した事務所でも既の実施しているテレワークにより、事務所閉鎖中も業務を継続する。
- ②A社は、1階と2階に分けておき、どちらかのに感染者が出ても一方のフロアで営業を継続できるようにする。
- ③B社は、社員を2チームに分けて、交代で出勤させる。どちらかに感染者が出ても一方が営業を継続できるようにする。
- ④C社は、営業マンを店舗に出勤する人と自宅から直行直帰する人に分けて万が一感染者が出てもどこかで営業を継続できるようにする。 etc

以上の通り、万が一感染者が出ても、会社の社員や場所を事前にわけておくことによって、何とか営業を継続できるような対策になります。休業をしないようにできることをしておきましょう！